

特別企画・美術館でブックトーク
「～あなたに伝えたい美術の本～」(全4回)

小 杉放菴記念日光美術館では、さまざまな分野で活躍している方々を講師(ブックトーカー)に招き、美術に関わる本の魅力を紹介する講座を、6月から12月にかけて4回連続で開催します。

1 回目は、宇都宮大学教育学部教授・山口喜雄氏によるブックトークです。長年、美術教育に携わってきた山口氏のお勧めはどんな本でしょうか。この機会にぜひ、ご参加ください。

と き: 6月15日(土) 午後1時～2時30分
講 師: 山口喜雄氏(宇都宮大学教育学部教授)
テ マ: 美術文化形成の過程で出会えた美術の本たち
参 加 料: 入館料のみで参加できます
参加方法: 美術館へ電話で申し込む

◆展覧会「selection 2013 般若塚・黒崎家の扇面コレクション」
会 期: 6月1日(土)～7月7日(日) ※毎週月曜日休館
開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料: 一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



ジンジャくん



たくみ

「おーい、たくみ！
この本、読んでみよよ」

「美術の本だね！
ほく、読んでみたかったんだ
ジンジャくん、ありがとう」

ホッと HOT なまちをつくらう
～日光市中心市街地活性化基本計画～ その②

今回は、今市市街地がこれから取り組んでいくまちづくりについてお知らせします。日光市中心市街地活性化基本計画の事業には、施設などの建設や道路の整備だけでなく、地域資源を活かしたまちづくり、にぎわいを取り戻すためのまちづくりを地域の皆さんと一緒に考え、取り組んでいくものもあります。



今、一生懸命！

どうすれば、今市市街地(以下、中心市街地)の楽しさを市民の皆さんや市外の人たちに知ってもらい、遊びに来てもらえるのか。商店会や自治会、まちづくりグループなど、中心市街地の皆さんは、にぎやかで楽しいいろいろなイベントを企画・実施し、まちなかに多くのお客さんが来てくれるよう、一生懸命頑張っています。

楽しさを広げたい！

中心市街地には、どんな魅力があるのでしょうか。実際に歩いてみると、有名な名所や史跡の他、ひっそりとたたずむ歴史遺産を見つけることができます。また、ときにはにぎやかで楽しいイベントが開催されたり、個性のあるお店や、おいしいお店があったりと、まちなかには楽しめる素材がたくさんあることに気がきます。

必要なのは、その魅力をPRしていくことです。これから始める企画は、市民の皆さんや市外の人たちに「ちよつと行ってみようかな」、「一緒に参加したいな」という気持ちに



郷愁をそそる玉藻小路

歩きたくなるまちづくり作戦、開始！

作戦その①

歩きたくなる散策

ルートマップづくり

この作戦では、その名の通り、手に取った方が、中心市街地を散策したくなるマップを作ります。

そこで、このマップづくりのメンバーを募集します。みんなでまちなかを歩いて、発見して、楽しんで、オリジナルあふれるマップを作ってみませんか。

経験・知識などは、全く必要ありません。



水と緑あふれる遊歩道

作戦その②

歩きたくなる散策ツアー企画

中心市街地を、みんなでにぎやかに楽しみながら、お得な企画を盛り込んだ歩くツアーを考えていきます。この企画は平成26年度から始める予定です。

情報なび26ページでメンバーを募集しています。応募をお待ちしています。

まちづくりに興味のある方、サポートしてくれる方はまちづくり推進課に、ぜひご連絡ください。

まちづくりに、あなたの熱い思いと行動力が必要です。

この連載についてくわしくはまちづくり推進課 ☎(30)11176

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣)
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料) 休館日 月曜日、祝日



◆民俗芸能・技術記録映像紹介

歴史民俗資料館では、平成23年度から市内に残る獅子舞などの民俗芸能や伝統的な生活技術の記録映像を作成しています。

民俗芸能や生活技術は、生活や社会の変化に伴って常に変化し続けています。

これらの現在の姿をしっかりと記録に残しておくことは、現在の市の魅力を将来に伝える地域の財産になると考えています。

そのため、撮影は、事前の会議や練習、準備、片付けなど一連の行為を記録し、聞き取り調査を実施しました。

23年度は、関ノ沢獅子舞、湯西川湯殿山神社祭礼、土呂部の獅子舞、関白流原宿獅子舞、岩芝伝統工芸技術の記録映像を作成しました。

24年度は、東小来川の獅子舞、日陰の獅子舞、関白流下小林獅子舞、上栗山の獅子舞、野門の獅子舞、日向の獅子舞、生岡神社子供



撮影の様子
(三所神社の弓取り童子の準備)

◆企画展「飢饉を乗り越える」
6月30日(日)まで